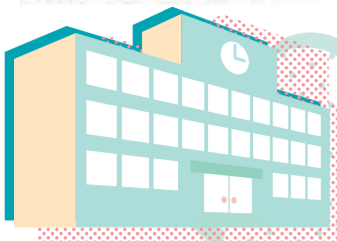


茨城こども新聞 特別版



龍ヶ崎市立 久保台小学校



- ◆校 長 松島 正典
- ◆児童数 302人
- ◆創立年 1996年
- ◆住 所 龍ヶ崎市久保台2の3

学校 ボランティア



朝、いっしょに登校した子どもたちに、職員室前に飾る生け花の説明をする熊谷公子さん(右)

通学路の見守りに感謝

ぼくたちの登校を15年以上、見守ってくれている学校ボランティアの方を紹介します。

学校評議員でもある熊谷公子さん(68)は、ぼくたちといっしょに登校し、行き交う人たちに元気にあいさつをしています。その姿を見ると、ぼくたちも元気にあいさつしようという気持ちになります。暑い日や寒い日、雨の日など、どのような日でも、ぼくたちを見守ってくださっていることに感謝しています。

また、熊谷さんは職員室前に季節に合わせた生け花を飾ってくれています。先生方やぼくたちの心が休まるのではないかという思いから始めたそうです。先生方もぼくたちもお花を見て「きれいだね」と喜んでいきます。通学路の見守りや生け花などの心遣いのおかげで、久保台小学校の生活が安全で豊かになっているのだと思います。いつもありがとうございます。(6年 中平晴也)



こんな学校です!



学校新聞発行や自問清掃集会について話し合う中央委員会(5、6年生)のメンバー

よりよい学校へ話し合い

久保台小学校中央委員会は、日々よりよい学校にするために学校の中心としてどんなことができるか話し合い、それを実行するために計画を立てています。これまでに、今年度は委員会紹介や自問清掃集会に取り組んできました。

自問清掃とは、無言で清掃を行うことで自己を見つめ、自分自身を成長させる時間のことです。気持ちを落ち着かせて清掃を行います。終了後には、感想会を行

い、自分が今日の清掃を通してどう思ったか、次はどのようなことを発表し合います。自問清掃は、久保台小学校の伝統の一つです。これからも、大切に守り続けていきたいです。

今後の活動としては、中学校とテレビ会議を行い、中学校生活についてアドバイスをもらう予定です。(6年 相澤優理、籠岡悠樹)



稲(いね)の苗(なえ)を手植えする5年生。はだしになって、佐藤博さんから助言をもらいながら植えています

地域との交流

楽しく米作り取り組む

わたしたち5年生は、総合的な学習の時間に米作りについて学習しています。5月28日には、校庭の田んぼで田植えを行いました。龍ヶ崎有機農業推進グループ代表、佐藤博さん(72)に教えてもらいながら学習しています。米作りについて疑問に思うことを質問してみました。

—毎年どれくらいのお米がとれますか？

「広さ9000平方メートルの田んぼから、4000俵(65俵)の米を収穫しています」

—米作りで大切にしていることは？

「安全でおいしい米作りのため、農薬を使わず、自分で作った肥料を使っています。また、『親子で米作り体験&生き物観察』を行い、米作りや自然の大切さについて知ってもらおう活動をしています」

これからは知識豊かな佐藤さんに教えてもらいながら、楽しく米作りに取り組んでいきたいです。

(5年 佐々木敦武、芳野颯哉、福田絢可、高橋芽衣)

ICT活用



外国語(英語)の授業でタブレットを使う6年生

いろいろな教科で学習

久保台小学校では、いろいろな授業でタブレットを使って楽しく学習しています。

算数では、図形を描くためにはいくつ進んで角度は何度でどの方向に進めばよいか、プログラミングの学習をしました。計算が合わないとき正しく図形が描けません。計算が正解し、正しく図形が描けたときはとてもうれしかったです。

英語では、発音が正しいかチェックをしたり、習った文法を使っているいろいろな紹介をしたりして学習しています。発音したことが、文字になって画面に表示されず、発音は難しいなと思いました。

文をパワーポイント(発表資料作成ソフト)に入力し、画像を取り入れると自分でもびっくりするほどきれいな作品ができるので、すごくうれしいです。その他、いろいろな教科でタブレットパソコンを使って学習しています。(6年 菅野心花)

次回は10月15日 常陸太田市立世矢小学校です